

## 《在宅医療人育生プログラム start up ワークショップ

～地域を支えるための医療人に必要なスキルと知識～ 》

在宅医療人育生プログラム start up ワークショップを開催致します。

時代の流れの中で2025年に向けた新しい地域づくりの中に地域包括ケアをどのようにデザインして行くのか？その為に必要な人材はどのようなものなのかを学びともに分かち合う為のワークショップです。地域包括ケアを支える為にはどのような人材とネットワークそして多職種連携をしなければならないのか？2025年に向けて国が考えるグランドデザインの詳細から在宅診療所現場の医師からの現場での課題と実際の患者診断実践について学び、その後ワークショップにて現在在宅支援診療所運営をしている医師とこれから在宅支援に参入希望医師と互いに課題を分かち合います。実際の医療と経営面から視点も含んだ実践に役立つワークショップを行います。

在宅医療人育生プログラム start up ワークショップです。

現在これから地域包括ケアを支えたいと思う医療人、在宅医療やクリニック経営に不安のある医療者、これから在宅支援診療所を開設したいと考えている若手医療人に是非参加して頂きたいワークショップです。

■日時：2017年12月5日（土）13：30～

■場所：東京大学医学部 医学部新館 2階 第一セミナー室

■募集人数： 30名

■協力 東京大学医学系研究科医用生体工学講座

## ■ 当日スケジュール

- 14:10～14:40 基調講演 香取照幸 《厚生労働省年金局長》  
「2025年に向けての地域包括ケアのグランドデザイン」
- 14:40～15:30 特別講演 中野一司 《ナカノ在宅医療クリニック 院長》  
「在宅医療現場で求められる能力」
- 15:30～16:00 特別発言 村上紀美子
- 16:10～16:30 ライトニングトーク (課題提供)  
高瀬義昌 《至高会たかせクリニック理事長

\* 在宅医療での基礎的な実践能力とは  
患者のスクリーニング→アセスメント→治療方針の構築→治療→時系列の中でのスクリーニングという繰り返しながら治療を行う力。

## 16:10～17:30 ワークショップ

現在在宅支援診療所運営をしている医師とこれから在宅支援に参入希望医師でチームをつくり、「在宅医療医療人に求められる能力は何か」について／認知症／他職種連携／コミュニティネットワーク創造などをテーマに互いに討議し合い、足りないもの、生みだすべきものはなにかを討議します。各講演者にはそれぞれのチームにメンターとして回って頂きます。

## 17:30～18:10 発表と総評

コメンテーター

佐々木昌宏 《文部科学省高等教育局医学教育課企画官》

中野一司 《ナカノ在宅医療クリニック 院長》

高瀬義昌 《至高会たかせクリニック理事長》

## 18:30～20:00 懇親会 (別会場)